



おめでとう

兵庫県功労者表彰

県政の推進や公共の福祉に
功労のあった方、広く県民の
模範となった方々に「兵庫県
功労者表彰」が贈られました。

◆**奥井光子さん(賀集)**、
◆**登里倭江さん(津井)**に
女性・消費生活功労

奥井さんは、平成三年か
ら三原郡連合婦人会役員に
就任、同七年には副会長、同
十三年からは会長、同年県連
合婦人会理事に就き活躍中。
婦人会活動を通じて女性の地
位向上に尽くされています。

登里さんは、昭和六十三年
に西淡町いずみ会副会長に就
任、平成二年には会長、同六
年には県いずみ会理事、同八
年からは同副会長に就き活躍
中。食生活改善運動の推進と
女性の地位向上に尽くされて
います。

◆**山田脩二さん(津井)**に
文化功労
昭和三十七年から二十年間
フリーのカメラマンとして活
躍。同五十七年、写真家に終
止符を宣言して津井で粘土瓦
の製造を開始、同五十九年に



▲ガーデナーの庭を觀賞する来場者

あわじオープンガーデン

花を通じて交流が広がる

家庭の庭や地域の人が管理している花壇などを一斉に
公開し、花を通じて交流を深めてもらおうと、「第5回
あわじオープンガーデン」(嶋一史代表)が5月6・7・
13・14日に島内61か所で開催されました。

会場では来場者がガーデナーに花の名前などを尋ねなが
らゆっくりと鑑賞。ガーデナーは「来てくれた人からいろ
いろと教わることも多い」と話していました。



▲加地亮選手

加地亮選手ワールドカップサッカー日本代表に

FIFAワールドカップド
イツ大会日本代表メンバー
に、加地亮選手が選ばれまし
た。加地選手は、南あわじ市
湊出身でガンバ大阪所属。
市では、五月十五日午後二
時の代表発表にあわせて、記

まを挙げてエールを送る
念セレモニーを開催。加地選
手の母・久子さん、市サッカ
ー協会・小松實会長、西淡・
湊少年サッカー・早川益弘監
督ら関係者約五十人が出席。
テレビ放送で代表入りが決ま
ると拍手と歓声に包まれまし
た。

南あわじ市花づくり協会が誕生

四月二十二日、南あわじ市
花づくり協会(安田安義会長、
加盟百団体)の設立総会が三
原公民館で行われ、関係者約
二百人が出席しました。
色とりどりの花で飾られた
会場で、規約や役員選任、
事業計画などについて審議さ
れました。
安田会長は「花を見れば

住みよいまちづくりを目指す

心が美しくなる。住みよいま
あわじ市づくりに貢献するた
め、一本でも多くの花を植え
ましょう」と話されました。
続いて行われた記念講演で
は、小野市ガーデンプランナ
ーの田中佳代子さんが、手入
れのしやすい花壇の作り方な
ど、具体的な事例を話されま
した。



▲道路沿いの花壇の手入れをする花作りグループ(北阿万)

市内の魅力再発見



▲説明を受けながら史跡を巡る参加者(成相寺)

手作り講座「現地めぐり」

地元の身近な史跡を回り、
歴史や文化財を知ってもらお
うと、南淡図書館主催の「手
作り講座 現地めぐり」が四
月三十日に行われ、三十人が
参加しました。
元教師で陶芸家の徳田壽春
さん(福良)を講師に、成相
寺や国分寺、護国寺、海軍予
科訓練生慰霊碑をバスで回り
ました。
成相寺では国指定重要文化

財の木造薬師如来立像などを
拝観(十八頁に関連記事)。
徳田さんから仏教の成り立ち
や仏像の美術的な魅力などに
ついての説明があり、参加者
はメモを取りながら、熱心に
耳を傾けていました。
参加者は「普段なかなかお
目にかかれない国宝を拝観で
きよかった。解説もあり、理
解を深めることができた」と
喜んでいました。
南淡図書館では今後も、郷
土の歴史や自然などの講座を
計画していきます。

野村(なむら)に春の叙勲



▲野村さん

大橋 實さんに春の褒章



▲大橋さん

長年にわたり国家・公共
のためにつくした人を称える
「春の叙勲」。開業助産師の野
村つるるさん(福良)が瑞宝
双光章を受章しました。
野村さんは、昭和二十年に
地元で助産所を開設し、南淡
町立母子センター開設後は

優れた業績を重ね、社会に
貢献した人や団体に贈られる
褒章。長年自動車整備を通
じて産業経済の発展に貢献の
あった大橋實さん(市)が黄
綬褒章を受章しました。
大橋さんは、五十年以上に
わたり整備ひと筋に歩まれ、

同センターでの出産に立ち合
い、これまでに五千人以上の
赤ちゃんを取り上げました。
現在も、乳児の訪問検診やも
く浴などに携わっています。
「多くの人の信頼をいただい
ての受章。感謝の気持ちで
いっぱいです」と喜びを語ら
れました。

県自動車整備振興協会淡路支
部長を十年間務め、技能向上
に力を注ぎました。
『人は人に生かされ、人の
ために生きる』を座右の銘に、
仕事に励み、地元との結びつ
きを深めたい」と話されまし
た。



▲エプロンシアターに夢中の子どもたち

みどり子どもまつり

遊びから交流を深めよう

日ごろ、地域のおじさん・おばさんとふれあう機会の少ない子ども
たちに、遊びを通じて交流してもらおうと「みどり子どもまつり」(緑
民生委員・児童委員協議会主催、平池啓子会長)が5月13日、緑市
民センターで開催され、小学3年生までの児童150人が参加しまし
た。紙芝居や工作、ヨーヨー釣り、綿菓子コーナーなどに子どもたち
は目を輝かせていました。平池会長は「多くのボランティアの人たち
が賛同してくれた。来年も続けたい」と話していました。

は「山田脩二・淡路かわら房」
を設立、屋根瓦を地面に敷き
詰めるなど、淡路伝統の「い
ぶし瓦」を素材にした独自の
アートを展開しています。
◆**北川富嗣さん(賀集)**に
商工功労
昭和六十二年南淡町商工会
理事、平成十三年からは同会
長に就任し、組織強化と新規
会員確保に尽力。「南淡まつ
り」や「うずしおマラソン全
国大会」などのイベントを通
じて地域の活性化に貢献しま
した。南あわじ市商工会誕生
にも貢献されました。

◆**坂本哲也さん(福良)**に
まちづくり功労
昭和五十年に設計会社を設
立、平成七年の阪神淡路大震
災には個人住宅の危険度判
定や住宅の改修補強相談に率
先して協力、地域のまちづく
りに貢献されました。昭和
五十九年からは県建築設計事
務所協会淡路支部理事に就
任、会員の建築知識の向上に
努められています。

◆**中田勝久市長(榎列)**に
自治功労
平成六年三原町長に当選、
以後三期にわたり三原町政を
推進。その間、農業公園を計
画、開園に力を注ぎ、ほ場整
備では十地区四〇七畝を事業
着手に導きました。